

さいたま赤十字病院 院外報

かがやき

FREE
ご自由にお持ちください

Vol. 66
令和6年度
3号



Contents

【泌尿器科 特集】

- 泌尿器がんに対するロボット支援下手術…………… P2-3
- ▶ 周産期病棟について…………… P4
- ▶ 埼玉メディカルラリー 2024 in SAITAMA…………… P5
- ▶ お仕事紹介コラム（臨床工学技術課）…………… P6
- ▶ 連携医療機関紹介…………… P7
- ▶ 大規模地震時医療活動訓練紹介…………… P8



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

さいたま赤十字病院



特集

泌尿器科

泌尿器がんに対す ロボ

ロボット支援下手術は元々は戦場での外傷時に手術を遠隔で行うシステムを目的に開発された、従来の腹腔鏡下手術よりも正確で繊細な操作を3Dモニターを用いた良好な視野で行える術式です。泌尿器科では腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がん、前立腺がんなどでロボット支援下手術が可能になり、現在もっとも一般的な手術となっております。当院には手術支援ロボット（da Vinci システム）が2台導入されており、泌尿器科、外科、産婦人科と幅広い領域でロボット支援下手術が行われています。



前立腺がん

日本では平成 24 年に前立腺がんのロボット支援下手術が初めて保険承認され、以後急速に普及しています。これまで前立腺がんの術後は尿漏れ、勃起障害などが高頻度には起こっていましたが、ロボット支援下手術による技術の進歩もあり、合併症の頻度

も低下し、生活の質（QOL）も維持できるようになってきました。当院では2台目の手術支援ロボットを導入したことにより手術待機時間も短縮傾向であり、安全かつ最適な医療を提供します。

小径腎がんに対するロボット支援下腎部分切除術は前立腺がんの次に多く行われている術式で、従来の開腹手術や腹腔鏡手術で困難であった大きい腫瘍、埋没している腫瘍などでも腎温存をすることが可能になりました。一般的に腎部分切除術は出血

を予防することを目的に、一時的に腎臓に行く血流を遮断して切除しますが、当科では腫瘍の位置、大きさ、腎機能などを考慮して可能であれば、腎血流を保ったまま（無阻血）腫瘍を摘除して腎臓のダメージを最小限とする方法も施行しています。

膀胱がん

浸潤性膀胱がんの手術はこれまで開腹手術が行われてきましたが、患者さんの負担が大きく、出血などの合併症も多いことが問題でした。ロボット支援下膀胱全摘術は施設基準が厳しく、行うことができる施設に限りがある現状ですが、当院では昨年

度より導入しています。手術時間の短縮、出血量の減少、合併症率の低下など手術による侵襲が劇的に減少し、予後や患者さんの QOL 改善につながったと実感しております。

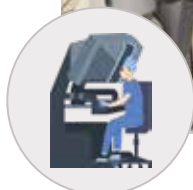
腎がん



る ット支援下手術



4本のロボットアームが自在に動いて手術を進める。遠隔操作であり、助手は患者さんのすぐ側でモニターを見ながら手術のサポートを行う。

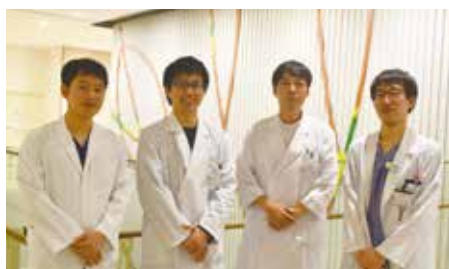


デュアルコンソールと呼ばれる2台の操作台に、1台は術者が、もう1台は手術指導を受ける医師が座っている。2人で協力しながら手術を行ったり、教育的な指導をすることができる。



親指と人差し指でコントローラーを掴み操作する。手ぶれを補正し、術者の手の動きが縮小されて手術装置に伝達されるため繊細な作業が可能となる。

泌尿器科
スタッフ



今後さらなるロボット支援下手術の拡大、発展を目指してスタッフ一同邁進していく所存ですのでよろしくお願いいたします。

泌尿器科 部長
小林 秀一郎

安全に、その人らしく。 周産期病棟

◆ 当院は総合周産期母子医療センターの指定を受けています

当院の周産期病棟は西側に一般病棟、東側には MFICU（母体胎児集中治療室）・NICU（新生児集中治療室）・GCU（新生児回復室）があり、東側は隣接する埼玉県立小児医療センターの NICU・GCU とともに総合周産期母子医療センター（県内には 2 施設のみ）に指定されています。

一方、西側の一般病棟は、妊婦さんの管理や産後のケアと、婦人科疾患の患者さんの女性病棟となっています。周産期病棟では、ローリスクからハイリスクの妊娠分娩管理を安全にその人らしく出産・育児に臨めるように、多職種で支援しています。

◆ 夫立ち会い分娩が再開しました

出産はご家族にとって大切なライフイベントであり、その瞬間をともに迎えたいと考える方々のために「夫立ち会い分娩」を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響により、数年にわたり中止をしていましたが、感染対策を整え令和 6 年 10 月から再開しました。

出産の立ち会いには「ペアレンツサークル」という出産準備教室の受講が必要になります。お二人で受講していただき、パートナーに出産に寄り添うことのコレや産痛を和らげるためのマッサージ方法等の取り組み方を助産師が指導しています。受講により、改めて出産や育児に対して具体的にイメージしていただき、安産に向けた身体作りや赤ちゃんのいる生活へのシフトチェンジのきっかけになることをねらいとしています。



当院における立ち会い分娩は、出産が近くなったタイミングでパートナーの方にご来院いただき出産までともに過ごします。実際に腰をさする、呼吸を整える、水分やご飯を勧める等、つらく大変な過程だからこそ、お二人で子どもを迎える喜びを体験できるようにお手伝いしています。

赤ちゃんが生まれてくる場面は緊張感もありますが、両親に見守られ、温かな雰囲気の中で赤ちゃんが人生のスタートを踏み出せるように、スタッフ一同で支援できるようにと考えています。



夫立ち会い分娩後の様子



産婦人科部長 中村 学
MFICU 師長 阿部弘美



“救う”を魅せる 埼玉メディカルラリー 2024 in SAITAMA

埼玉メディカルラリー 2024 in SAITAMA を開催しました！

令和6年11月16日（土）に当院が主催となって埼玉メディカルラリー 2024 in SAITAMA を開催しました。メディカルラリーとは、医師・看護師・救急救命士などの医療チームが模擬患者を診察して診断や治療、多職種連携を行う技術を競う技能コンテストです。

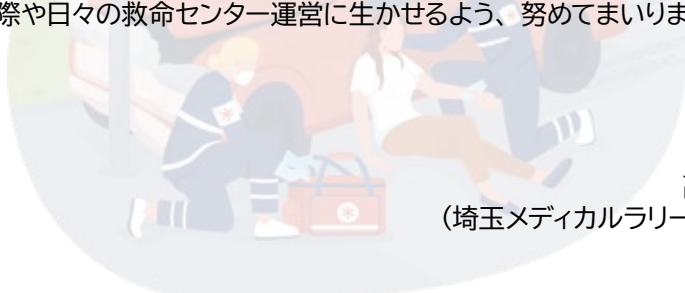
今回は、医療機関や消防、自衛隊などから計14チームが参加しました。さまざまなシチュエーションにおける病院前救護（救急搬送の前に、患者さんの状態を

評価し、必要な治療を行うこと）を、さいたま新都心を中心とした一般の方々も見学可能な場所で行いました。当日は、野生動物による多数外傷患者が発生した場合や巨大地震により建物が倒壊した集合住宅での救護所立ち上げなどのリアルに再現された模擬現場で実践しながら動くことにより、個々人の技術力の確認はもちろん、多職種との協働や情報共有、チームワークの必要性を実感できる場となりました。

今回の経験が有事の際や日々の救命センター運営に生かせるよう、努めてまいります。



大会長を務めた清田院長の挨拶



高度救命救急センター
（埼玉メディカルラリー事務局 実行委員長）

奥田 裕子



当日の様子

臨床工学技士 Clinical Engineer とは??

当院の臨床工学技術課では、厚生労働省大臣認定(昭和 62 年 5 月に制定)の国家資格を習得した臨床工学技士が、医師の指示のもと治療補助・検査補助などにおいて安全な医療機器の操作・管理を提供しています。昨今の高度な医療技術の進歩に伴い医療機器の高度化も進み、臨床工学技士は活躍の場が広がっています。

業務内容として主に

- ・ 医療機器の中央管理
 - ・ 医療機器管理・操作 (一般病棟・集中治療室・中央手術室・救命センター)
 - ・ 血液浄化療法 (透析)
 - ・ 心臓カテーテル検査・治療
 - ・ 人工心肺操作・管理
 - ・ ペースメーカ操作・管理
 - ・ 高気圧酸素治療
- などが挙げられます。



臨床工学技士の
医療機器管理業務を
具体的に紹介します。

医療機器の安全確認

主に生命維持管理装置が安全に正しく使用されているか、日々点検をしています。近年では、医療機器の正しく安全な稼働だけではなく、設定についても確認を行い、状態について医師・看護師に共有する役割も担っています。



始業点検

始業時の点検は、安全を確保するための確認です。主に部品の劣化、動作や外見に問題がないかを点検します。安全装置や警報装置の確認も重要になります。



機器の導入・操作

生命維持管理装置の導入や取り付けには、臨床工学技士も立ち会うことがあります。機器の開始・操作を行います。医療と工学(機器)の知識・技術を併せ持つ職種としての力を発揮します。



以上のように医療と工学(機器)のスペシャリストとして、日々業務に従事しています。

私たち臨床工学技士は、医療機器のスペシャリストであると同時に一社会人でもあります。専門的な知識技術だけでなく、社会の一員として業務を安全かつ効率的に実施するために必要とされる認知的、社会的スキルを併せ持つ医療従事者を理想とし、これからも社会貢献をしていきます。

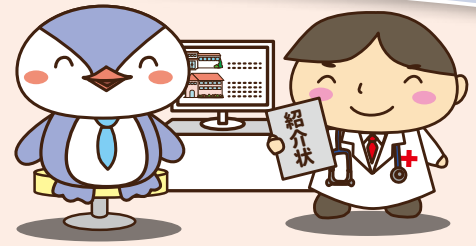
臨床工学技術課 係長 齋木 啓太



連携医療機関紹介

当院では地域医療支援病院としての責務を果たすべく、地域のかかりつけ医の先生方からの紹介患者さんに対し、専門的な治療や救急医療の提供を行っております。

ここでは当院の心強いパートナーである医療機関をご紹介します。



クリニック 大宮エヴァグリーンクリニック (かかりつけ医)



院長：伊勢呂 哲也

住所：さいたま市大宮区下町 2 丁目 16-1
アクロスビル 3F

TEL：048-647-3203

診療科：消（胃腸）・泌・内・外・肛門

休診日：祝日・土曜午後・日曜午後



※詳細についてはホームページをご覧ください。

<https://omiyaever.jp/>

開院 30 周年

当クリニックは平成 6 年に開院し、皆様のおかげで今年で 30 周年を迎えました。泌尿器科・消化器内科・内科の保険診療と健康診断・人間ドックの自由診療を行っています。

疾患の早期発見・早期治療のために

当クリニックはわずかな初期症状を見逃さず、疾患の早期発見・早期治療に力を入れています。系列院や提携院との連携を密に行っているため、精密な検査をスピード感を持って受けていただくことが可能です。

全ての方に満足していただくために

当クリニックは患者様はもちろん、働くスタッフや関わる業者さんなど全ての方に満足していただけるような環境作りを大切にしています。

連携病院 特定医療法人双愛会 大宮双愛病院



院長：梅本 富士

住所：さいたま市大宮区堀の内町 2-160

TEL：048-643-1200（代表）

診療科：内科・外科・整形外科・小児科・胃腸内科・
肛門外科・循環器内科・泌尿器科・皮膚科・
放射線科



※詳細についてはホームページをご覧ください。

<http://omiya-souai.jp/>

当院の紹介

当院はさいたま市大宮区堀の内町に立地する開院以来約 60 年となる病院です。急性期一般病床 56 床、療養病床 34 床と、急性の疾患から慢性期の療養まで、また、内科、外科、小児科、整形外科、泌尿器科などの科があり、これらの疾患に対応しております。小規模の病院なので微力ではありますが救急対応にも力を入れており、昨年度実績で 1,215 件、本年度前半期で 868 件の救急車を受け入れております。外来、入院、救急とも、かかりつけの方も初診の方も受け入れておりますので、いつでもお気軽にご相談、ご来院ください。

さいたま赤十字病院様との連携

各科にわたり緊急や高度医療を要する症例を紹介したり、治療後や長期療養の必要な方の引き受け等で密な病病連携をさせていただいております。さいたま赤十字病院様への紹介、治療後の通院継続いずれも、当院をいつでもご利用ください。



大規模地震時医療活動訓練のご紹介

令和6年9月27日、28日の両日にわたって大規模地震時医療活動訓練が行われました。この訓練は首都直下地震を想定しており、国や地方公共団体等が連携し総合的な実践訓練を行うことで、防災関係機関の相互の協力の円滑化を図ることを目的としています。

当院は埼玉県から基幹災害拠点病院として指定されており、大規模災害発生時には負傷者の受入はもとより、DMATの派遣やDMATの活動拠点としての役割を果たします。本訓練では当院所属の隊員を中心に活動拠点本部を設置し、県内外から派遣されるDMATチームの受入を行いました。また同訓練に併せて災害時に病院の被害状況をどのように確認するか、職員がどのように対応するのか等を確認するため、病院災害対策本部の設置・運営訓練も行いました。

慌ただしい2日間でしたが、訓練参加者からは「災害はいつ発生するか分からないので、日頃から準備しておくことの大事さを改めて実感した」「他機関の方に支援いただく際の課題がみえてきた」等のご意見をいただきました。今後も災害発生時に円滑に院内体制を整えられるよう努めて参ります。

救護社会課 係長
田中 祥貴

さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 健康経営を推進し、働きやすく活気あふれる職場作りに努めます。
6. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

患者さんの権利

1. 公平で適切な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が保たれ、人権を尊重される権利
3. プライバシーが守られ、個人情報保護される権利
4. わかりやすい言葉で検査や治療などの説明を受ける権利
5. 自己の決定権が確認され、医療行為を選択する権利
6. 安全・安心な医療を受ける権利
7. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利
8. 自己の診療記録等の開示を求める権利

患者さんに守っていただく事項

1. 健康に関する情報を医師や看護師等にお知らせください。
2. 医療行為については、納得したうえで指示に従ってお受けください。
3. 病院内ではルールを守り、他の人に迷惑にならないよう行動してください。
4. 診療費の支払い請求を受けた時は、速やかにお支払いください。